



オリエンタルコンサルタンツグローバルは、現地法人等拡大会議を開いた。東京本社と世界各国の事務所をウェブ

非ODA拡大の 営業戦略を議論

オリコンサルグロ
バルが現法拡大会議

でつなぎ、現地法人社長や海外事務所長、営業職員など約60人が参加した。

今回は「現地法人による非ODA事業拡大のための営業戦略」をテーマに設定。冒頭あいさつした近藤一康取締役営業本部長は「各現地法人は、それぞれ独立して業務を受注できるように成長してほしい。本日はそのための方策を議論したい」と呼び掛けた。写真。

その後、各現地法人社長と海外事務所長がそれぞれの課題と課題克服の方策を発表した。現在、同社は8カ国に現地法人を構え、従業員数は600人を超える。